



環境省
エコアクション21
認証番号0001804

環境経営レポート

2024年度

(2024年4月～2025年3月)



西日本三菱自動車販売株式会社

当社は、企業理念である「社会に貢献する会社」を目指す為、自動車の販売・サービスなど様々な事業活動を通じ、「持続可能な社会の実現」に貢献していきます。

発行日 2024年4月1日

《 目次 》

【1】 環境経営方針	P 1
【2】 事業の概要	P 2
【3】 実施体制(EA21組織図)	P 5
【4】 環境活動の取組み結果の評価及び 次年度の取組み内容	P 6
【5】 環境関連法規の違反・訴訟の有無	P 9
【6】 代表者による全体評価と見直し結果	P 12
【7】 環境経営課題と取組み	P 13
【9】 三菱自動車グループの環境への取組み方針 及び社会貢献活動	P 14

西日本三菱自動車販売株式会社

環 境 経 営 方 針

《 基本理念 》

西日本三菱自動車販売株式会社は、三菱車の販売・整備等の事業活動を通じて、環境への種々の影響を低減することにより地球環境の保全に努め、快適な社会づくりに貢献するNO. 1ディーラーを目指します。

《 基本方針 》

1. 環境マネジメントシステムの運用と改善

地球環境の保全活動を推進するため、環境目標を定め、効果的な環境マネジメントシステムを運用し、継続的な改善を図ります。

2. 環境関連法規等の遵守

環境に関する法令・規則や三菱自動車の環境指針を遵守し、環境保全レベルの向上を図ります。

3. エネルギー・資源の効率的利用と二酸化炭素の排出量低減

事業活動において環境負荷の低減を図るため、以下の取組を重点的に活動します。

- ① 電力・水資源・化石燃料などのエネルギー使用量の把握と低減
- ② 廃棄物の排出抑制とリサイクルを促進とした適正処理
- ③ 使用済自動車・バンパー・バッテリーのリサイクル促進
- ④ エコ整備・エコドライブ推進による排出ガス低減
- ⑤ 環境汚染物質の抑制と汚染の予防

4. 環境に適した商品・サービスの提供

環境に配慮した商品・サービスをお客様に提供し、お客様と共に地球環境保全に貢献します。

5. 環境方針の周知・公開と地域社会への貢献

全社員に環境方針を周知徹底し、環境保全に対する意識向上に努めるとともに、広く社外に公開し、地域社会に貢献します。

2024年 4月 1日



西日本三菱自動車販売株式会社

代表取締役社長

吉岡 重文

■事業者活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

事業者： 西日本三菱自動車販売株式会社
 代表者： 代表取締役 吉岡 重文
 認証・登録番号： 0001804
 認証・登録日： 2007年 9月 3日

(2) 所在地【大阪・岡山・山陰・愛媛】

地区	拠点名	電話番号	FAX番号	郵便番号	所在地
大阪	本社	06-6398-2100	06-6398-2131	532-0033	大阪府大阪市淀川区新高1丁目4-10
	大阪営業本部	06-6398-2110	06-6398-2132		
	新大阪店	06-6398-2120	06-6398-2136		
大阪	箕面店	072-721-1361	072-724-2800	562-0004	大阪府箕面市牧落5丁目5-7
大阪	千里店	06-6831-3126	06-6832-8184	565-0862	大阪府吹田市吹田市津雲台7-1-23
大阪	茨木店	072-625-1515	072-625-1510	567-0028	大阪府茨木市畑田町20-11
大阪	高槻店	072-669-3081	072-669-3090	569-0015	大阪府高槻市井尻2丁目1-1
大阪	枚方店	072-840-2151	072-840-2162	573-0006	大阪府枚方市堂山東町1-23
大阪	東成店	06-6976-6363	06-6976-3891	537-0011	大阪府大阪市東成区東今里1丁目3-17
大阪	守口店	072-826-3581	072-829-8577	572-0076	大阪府寝屋川市仁和寺本町4丁目20-52
大阪	門真店	072-881-3561	072-881-4423	571-0012	大阪府門真市江端町9-12
大阪	大阪西店	06-6538-2481	06-6531-1300	550-0014	大阪府大阪市西区北堀江4丁目16-9
大阪	東大阪店	06-6782-6251	06-6782-6256	577-0025	大阪府東大阪市新家3丁目5-17
大阪	堺店	072-238-9351	072-238-9350	590-0906	大阪府堺市堺区三宝町5丁276-2
大阪	富田林店	0721-25-7461	0721-25-6882	584-0025	大阪府富田林市若松町西3丁目1592
大阪	藤井寺店	072-952-8571	072-952-8570	583-0008	大阪府藤井寺市大井2丁目479
大阪	松原店	072-337-3031	072-282-7893	580-0014	大阪府松原市岡7丁目65-1
大阪	泉北ニュータウン店	072-235-7171	072-235-7109	590-0112	大阪府堺市南区岩室136-1
大阪	もず店	072-270-1510	072-277-1535	591-8034	大阪府堺市北区百舌鳥陵南町3丁480
大阪	岸和田店	072-422-5581	072-438-3173	596-0049	大阪府岸和田市八阪町1丁目11-14
大阪	UCAR 岸和田	072-423-7171	072-423-7175	596-0049	大阪府岸和田市八阪町1丁目12-3
岡山	中四国営業本部	086-241-1131	086-244-0638	700-0975	岡山県岡山市北区今1丁目10-28
	岡山店	086-241-1132	086-246-8832		
岡山	岡山東店	086-273-5158	086-273-2012	703-8233	岡山県岡山市中区高屋134
岡山	岡山南店	086-232-8151	086-222-8278	700-0941	岡山県岡山市南区青江6丁目5-9
岡山	真庭店	0867-42-1544	0867-42-1570	719-3203	岡山県真庭市富尾15
岡山	津山店	0868-26-0011	0868-26-3742	708-0843	岡山県津山市国分寺26
岡山	倉敷店	086-465-9211	086-465-9218	710-0803	岡山県倉敷市中島1375-1
岡山	小溝店	086-465-0321	086-466-0143	710-0803	岡山県倉敷市中島2149
岡山	水島店	086-446-2126	086-446-2179	712-8003	岡山県倉敷市水島明神町2番51
岡山	中庄店	086-464-0333	086-463-1001	701-0114	岡山県倉敷市松島1149-1
岡山	笠岡店	0865-67-0611	0865-67-0613	714-0092	岡山県笠岡市富岡164-1
岡山	総社店	0866-92-0250	0866-92-0570	719-1126	岡山県総社市総社2丁目3-50
岡山	UCAR 倉敷	086-466-5500	086-466-5511	710-0803	岡山県倉敷市中島2548-5
山陰	松江店	0852-23-1511	0852-23-1411	690-0017	島根県松江市西津田2丁目11-38
山陰	出雲店	0853-21-0318	0853-21-3179	693-0006	島根県出雲市白枝町423-2
山陰	三刀屋店	0854-45-2334	0854-45-2336	690-2403	島根県雲南市三刀屋町下熊谷1622-1
山陰	浜田店	0855-22-4155	0855-22-4157	697-0023	島根県浜田市長沢町88-2
山陰	米子東店	0859-33-4131	0859-22-0854	683-0802	鳥取県米子市東福原2丁目18-37
愛媛	松山宮西店	089-925-2121	089-923-1807	790-0065	愛媛県松山市宮西2丁目3-35
愛媛	松山きし店	089-970-3010	089-970-3331	791-1102	愛媛県松山市来住町798-3
愛媛	新居浜店	0897-37-3951	0897-33-8885	792-0012	愛媛県新居浜市中須賀町1丁目3-61
愛媛	宇和島店	0895-22-1442	0895-24-6467	798-0075	愛媛県宇和島市市川甲920-1

(2) 所在地【愛知・岐阜】

地区	拠点名	電話番号	FAX番号	郵便番号	所在地
愛知	中部営業本部	052-932-2221	052-932-5448	461-0001	愛知県名古屋市中区泉三丁目18番7号
愛知	本陣店	052-461-3371	052-461-3374	453-0035	愛知県名古屋市中村区十王町5番10号
愛知	津島店	0567-26-3641	0567-26-3644	496-0005	愛知県津島市神守町元屋敷120
愛知	一宮公園通店	0586-71-6611	0586-71-6614	491-0844	愛知県一宮市八町通1-24
愛知	豊山店	0568-28-2131	0568-28-5453	480-0202	愛知県西春日井郡豊山町豊場流川3番地1
愛知	春日井バイパス店	0568-81-6111	0568-84-6114	486-0844	愛知県春日井市鳥居松町2丁目20
愛知	犬山店	0587-95-4111	0587-95-6148	480-0142	愛知県丹羽郡大口町中小口4丁目62番の1
愛知	熱田店	052-681-3160	052-681-3757	456-0035	愛知県名古屋市中区熱田区白鳥1-5-12
愛知	太平通店	052-352-3261	052-352-3265	454-0838	愛知県名古屋市中川区太平通2丁目34
愛知	島田橋店	052-831-5111	052-831-5115	468-0066	愛知県名古屋市中区元八事2丁目180
愛知	徳重店	052-878-5751	052-878-5752	458-0814	愛知県名古屋市中区鶴が沢1丁目2311番
愛知	尾張旭店	0561-53-6911	0561-53-6916	488-0840	愛知県尾張旭市印場元町4丁目1番地14
愛知	グリーンロード店	0561-63-2611	056-163-2321	480-1124	愛知県長久手市戸田谷1020番地
愛知	三好木之本店	0561-34-7311	0561-34-2100	470-0224	愛知県みよし市三好町上245番地
愛知	安城赤松店	0566-92-1120	0566-92-1130	446-0046	愛知県安城市赤松町堀切100番地
愛知	西尾山下店	0563-56-2291	0563-56-2292	445-0877	愛知県西尾市山下町八幡山13番地
愛知	星崎店	052-613-1551	052-612-7810	457-0068	愛知県名古屋市中区南野3丁目6番地
愛知	東海店	052-604-7771	052-604-7773	476-0012	愛知県東海市富木島町伏見2-20-12
愛知	知多阿久比店	0569-48-6511	0569-48-0281	470-2201	愛知県知多郡阿久比町大字白沢字天神前16番地5
愛知	刈谷昭和店	0566-24-1511	0566-24-0850	448-0029	愛知県刈谷市昭和町2丁目16番地
愛知	岡崎矢作店	0564-31-3213	0564-32-5485	444-0905	愛知県岡崎市宇頭町字稲荷19番地
愛知	岡崎城北店	0564-21-7711	0564-24-4191	444-0064	愛知県岡崎市城北町6番地5
愛知	岡崎大樹寺店	0564-22-8111	0564-22-8113	444-2121	愛知県岡崎市鴨田町字広元138番地
愛知	岡崎上和田店	0564-53-3311	0564-53-2999	444-0201	愛知県岡崎市上和田町字サジ21番地1
愛知	岡崎光ヶ丘店	0564-55-3311	0564-55-4961	444-0812	愛知県岡崎市大西町字南ヶ原12番地100
愛知	豊川インター店	0533-85-2151	0533-85-2152	442-0012	愛知県豊川市新豊町一丁目156
愛知	豊橋瓜郷店	0532-52-3101	0532-52-3104	440-0092	愛知県豊橋市瓜郷町字前川29-1
愛知	UCAR 豊橋瓜郷	0532-21-6710	0532-21-6716	440-00920	愛知県豊橋市瓜郷町字前川29-1
愛知	豊橋向山店	0532-64-4711	0532-64-4741	440-0853	愛知県豊橋市佐藤5丁目1番地7
岐阜	岐阜南店	058-273-0500	058-273-0603	500-8287	岐阜県岐阜市北鷲1丁目63
岐阜	岐阜東店	058-245-6111	058-247-7453	500-8238	岐阜県岐阜市細畑一丁目4番1号
岐阜	岐阜北店	058-231-5375	058-231-1306	502-0005	岐阜県岐阜市岩崎1-4-22
岐阜	大垣店	0584-81-1241	0584-78-1941	503-0816	岐阜県大垣市小泉町297
岐阜	関店	0575-22-5227	0575-22-5730	501-3213	岐阜県関市東貸上23-1
岐阜	可児しもえど店	0574-62-8455	0574-62-8451	509-0203	岐阜県可児市下恵土広瀬5886-1
岐阜	多治見店	0572-22-9171	0572-22-9118	507-0048	岐阜県多治見市池田町2丁目89
岐阜	高山店	0577-34-6111	0577-34-6113	506-0052	岐阜県高山市下岡本町3035-3

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者：総務部 部長 森安 健彦
 担当者：総務部 総務課 小山 裕行

連絡先：(TEL) 06-6398-2100 (FAX) 06-6398-2131

■事業者活動の概要

(4) 事業内容

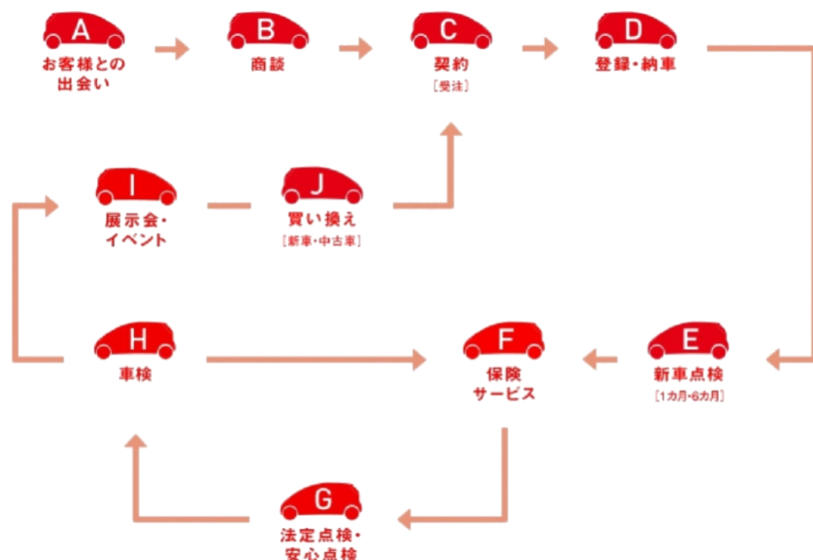
乗用車・商用車の販売並びに付随する関連業務。
三菱自動車工業(株)製造の乗用車、商用車の販売 / 自動車の点検・整備、中古車の販売 / 部品の販売、保険代理業務、並びに付帯する業務

【ホームページ】西日本三菱自動車販売株式会社 <https://west-mitsubishi-motor-sales.com/>

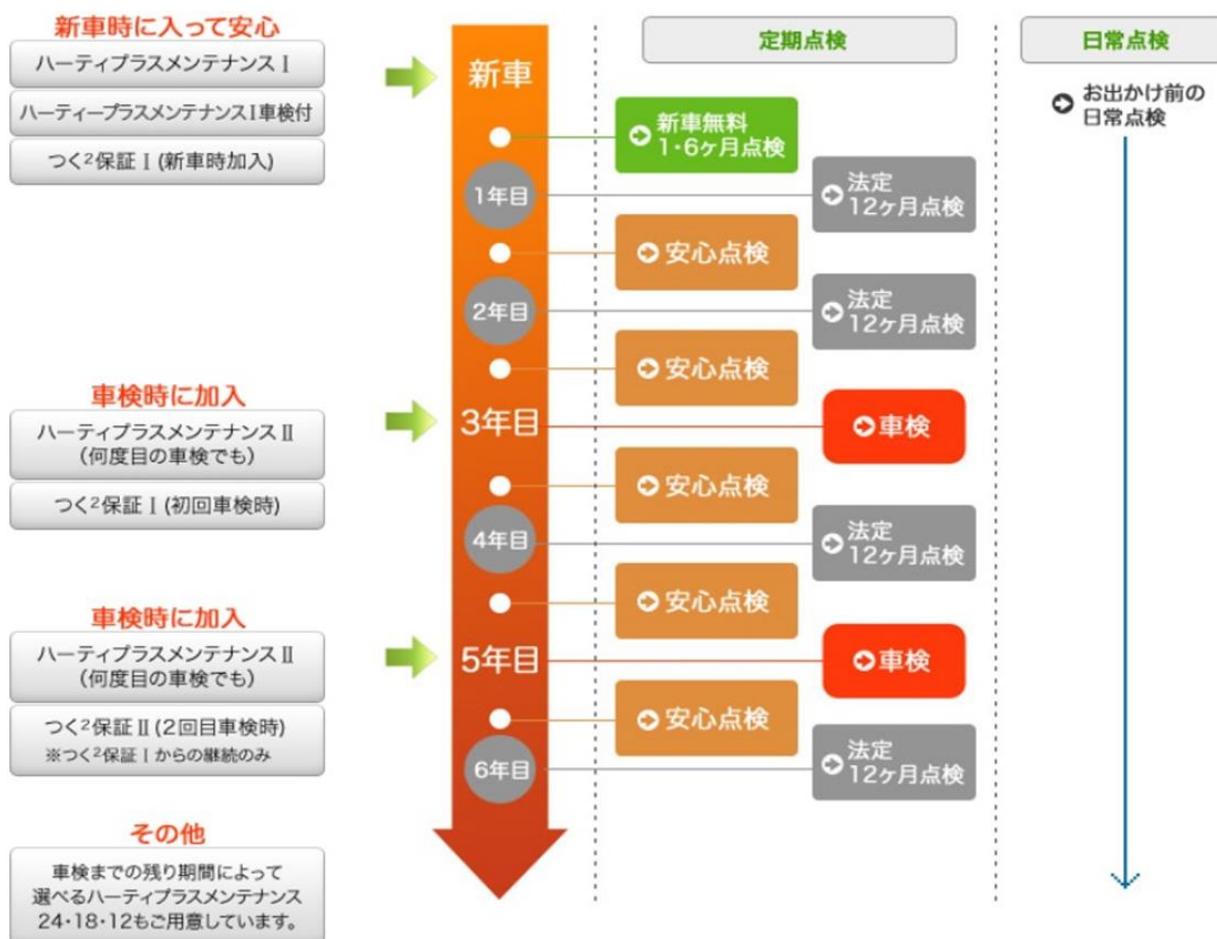


営業とサービスのチームで育むお客様との愛着の一台。

私たちにとって店頭でいらしゃったお客様との出会いは、長いおつきあいの最初の一步にすぎません。展示会や点検・車検などを通して、営業とサービスがチームとなって、お客様とのコミュニケーションを重ねながら共に「愛着の一台」を育てていきます。



メンテナンスサイクル(乗用車)



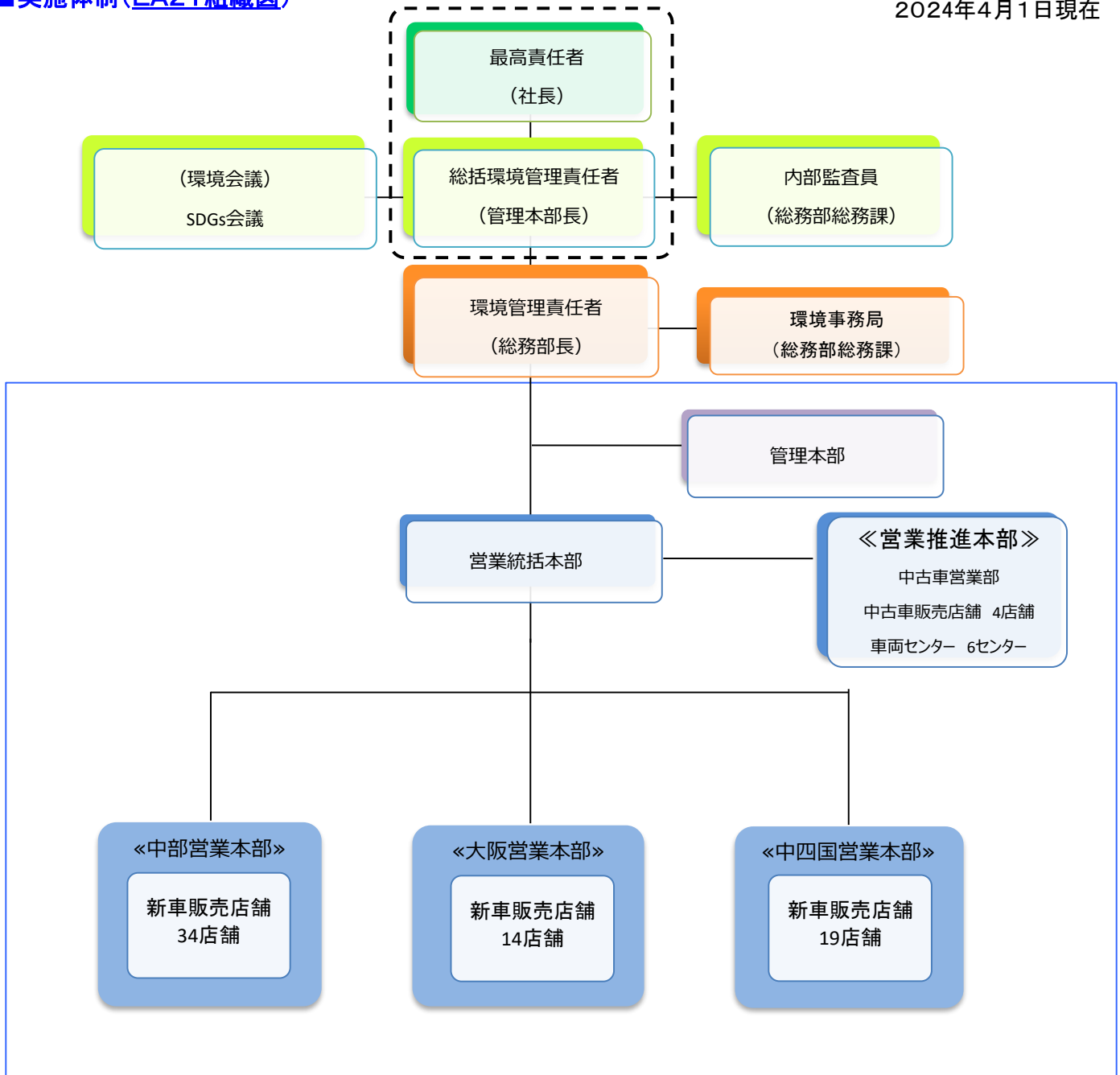
(5) 事業の規模

(全社)

従業員	1,398名	(’25年3月末日現在)
年間売上高	約6,858億円／年	(’24年度)
年間取り扱い台数	新車 約21千台	(’24年度)

■実施体制(EA21組織図)

2024年4月1日現在



■対象範囲

上記実施体制(EA21組織図)中の内、

大阪府 15拠点

愛知県 28拠点 岐阜県 9拠点

岡山県 12拠点 島根県 6拠点 鳥取県 1拠点 愛媛県 6拠点

■会社全体に於けるEA21の取組み

(1) 認証・取得状況

2020年4月に中部三菱自動車販売株式会社と合併し、同年審査において旧中部三菱自動車販売株式会社と当社の認証を統合済み。

(2) 運用方針

①社内には、イントラネット上に各種取組資料をアップロードし、適宜掲示し、見える化を図る

②社外に対しては、企業HP上にEA21における当社の取組ページを掲載。

最新の環境経営レポートについてもHPに公開している。

また、EA21ロゴマークの名刺への印刷を通じて、認証の取得及び活動を積極的にアピールしていく。

■環境経営目標及びその実績(全社)

1. 環境経営目標

事業環境の変化等を考慮し2023年度以降は毎年基準の見直しを行う。
但し、中長期目標は前年1%減で仮置きとする。

(1)環境経営目標の概要

		中長期目標・計画					
		➤ 毎年見直し ➤					
項目	基準値	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
電力使用量	2023年度実績 7,266,251 kWh	2023年度比 △ 5.0% (6,903,000)	2024年度比 △ 1.0% (6,834,000)	2025年度比 △ 1.0% (6,766,000)	2026年度比 △ 1.0% (6,698,000)	2027年度比 △ 1.0% (6,631,000)	2028年度比 △ 1.0% (6,565,000)
ガソリン使用量	2023年度実績 620,149 ℓ	2023年度比 △ 5.0% (589,000)	2024年度比 △ 1.0% (583,000)	2025年度比 △ 1.0% (577,000)	2026年度比 △ 1.0% (571,000)	2027年度比 △ 1.0% (565,000)	2028年度比 △ 1.0% (559,000)
水使用量	2023年度実績 48,965 m ³	2023年度比 △ 5.0% (47,000)	2024年度比 △ 1.0% (47,000)	2025年度比 △ 1.0% (47,000)	2026年度比 △ 1.0% (47,000)	2027年度比 △ 1.0% (47,000)	2028年度比 △ 1.0% (47,000)
廃棄物排出量	2023年度実績 985,936 kg	2023年度比 △ 5.0% (937,000)	2024年度比 △ 1.0% (928,000)	2025年度比 △ 1.0% (919,000)	2026年度比 △ 1.0% (910,000)	2027年度比 △ 1.0% (901,000)	2028年度比 △ 1.0% (892,000)
二酸化炭素 排出量(注1)	2023年度実績 5,569,817 kg-CO ₂	2023年度比 △ 5.0% (5,291,000)	2024年度比 △ 1.0% (5,238,000)	2025年度比 △ 1.0% (5,186,000)	2026年度比 △ 1.0% (5,134,000)	2027年度比 △ 1.0% (5,083,000)	2028年度比 △ 1.0% (5,032,000)

地域清掃活動	1回/月以上実施(実施頻度は店舗毎に決定)しており、継続しておこなう。
化学物質の 適正管理	PRTR法順守による適正管理の実施 (注2) 水質検査の対象範囲を拡大 (注3)

2. 環境負荷の現状

当社の事業活動における過去の環境負荷実績は、以下の通りです。

(基準年)

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
削減	電力使用量	kWh	7,775,374	7,219,483	6,882,594	7,480,636	7,266,251	6,692,385
	ガソリン使用量	ℓ	811,757	786,198	639,208	662,558	620,149	573,906
	水使用量	m ³	61,274	56,976	55,903	51,792	48,965	46,582
	廃棄物排出量	kg	950,912	821,303	921,511	891,428	985,936	1,103,457
	二酸化炭素 排出量(注1)	kg-CO ₂	6,695,468	5,447,322	5,053,829	5,425,818	5,569,817	5,207,254

(注1) 二酸化炭素排出量(kg-CO₂)のCO₂排出係数は、全期間にわたって各地区の電力購入先排出係数調整後にて算出しております。

2019～2022年度は、2019年度の各地区の電力購入先の調整後排出係数にて算出。愛知・岐阜地区(0.426)大阪地区(0.340)中国地区(0.585)四国地区(0.411)

2023～2024年度は、2022年度の各地区の電力購入先の調整後排出係数にて算出。愛知・岐阜地区(0.459)大阪地区(0.434)中国地区(0.545)四国地区(0.453)

(注2) 当社全体の取組み活動として本目標を設定しておりますが当社ではPRTR法に該当する化学物質の取扱いがスプレー缶のみと微量の為数値目標は設定なし。

(注3) 門型洗車設置店舗については条例による実施義務に関わらず水質検査を行うこととする。

■環境活動の取組み結果の評価及び次年度の取組み内容(全社)

2024年度運用期間の実績(削減項目:2023年度比△5.0%)

事業環境の変化等を考慮し2024年度は2023年度実績を基準として設定しております。

電力使用量

目標値及び実績値		達成率	前年同期間との比較	担当者のコメント及び次年度の取組み内容
目標値	6,903,000 kWh	達成 103.1%	前年度 7,266,251 kWh	コロナ対策・熱中症対策で上昇した電力使用量について、 目標を達成出来るレベルまで戻すことが出来ました。 節電意識が根付いてきたため目標達成出来たと思います。 次年度以降は工場への空調設置を進めるので 電気使用量は増加する可能性があります。 より一層の節電に努めていきます。
実績値	6,692,385 kWh		前年度比 △ 7.9 %	
実施事項				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務所内の空調温度調節の励行 2. 昼休み、時間外の消灯、使用時以外の消灯(会議室・給湯室・トイレ等) サービス工場の部分照明の実施 3. OA機器の節電(待機電力等) 4. 広告塔の点灯・消灯時間の管理 5. 空調機のフィルター清掃(3ヶ月毎) 6. 蛍光灯器具の省エネタイプへの順次切替え(LED化) 				

ガソリン使用量

目標値及び実績値		達成率	前年同期間との比較	担当者のコメント及び次年度の取組み内容
目標値	589,000 ㍓	達成 102.6%	前年度 620,149 ㍓	ガソリン使用量は前年度より減少し、 目標値を達成することが出来た。 引き続き、電気自動車やプラグインハイブリッド車の 普及に務めて脱炭素化に邁進する。
実績値	573,906 ㍓		前年度比 △ 7.5 %	
実施事項				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社有車・準社有車(借上車)の省エネ運転、点検整備の励行、エコドライブ実践 2. 代車、レンタカーの燃料管理 3. エコドライブ10ヶ条の実践 				

水使用量

目標値及び実績値		達成率	前年同期間との比較	担当者のコメント及び次年度の取組み内容
目標値	47,000 m ³	達成 100.9%	前年度 48,965 m ³	目標値の達成からも節水活動の効果は、確実に出ている。 漏水の検査等も定期的に行い無駄な水の使用をなくしていき 引き続き節水意識の周知・徹底に取り組んでいく。
実績値	46,582 m ³		前年度比 △ 4.9 %	
実施事項				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 効率のよい水使用の心掛け・実践(洗車・トイレ等) 2. 節水コマの設置 3. 車両洗車時等の無駄水の防止(ストップノズル取付け) 4. 漏水の定期点検 				

廃棄物(産業廃棄物・一般廃棄物)排出量

目標値及び実績値		達成率	前年同期間との比較	担当者のコメント及び次年度の取組み内容
目標値	937,000 kg	× 82.2%	前年度 985,936 kg	今年度も耐震工事の対象店舗で不要な金属用品の 大量廃棄が発生したため、 産業廃棄物の排出量が増加しました。 無駄を省いて廃棄物の削減に取り組んでいく。 次年度以降も更にリサイクルの徹底を促進していく。
実績値	1,103,457 kg		前年度比 +11.9 %	
実施事項				
<ol style="list-style-type: none"> 1. コピー紙使用量の削減(裏面の利用・両面コピー、電子化によるペーパーレス) 2. 廃棄物の分別管理と適正処理(リサイクルの促進) ・マニフェストの交付・回収・保管状況確認 ・委託契約書の整備(締結・有効年月確認・更新) 3. リサイクル業者との新規委託契約 				

二酸化炭素排出量

目標値及び実績値		達成率	前年同期間との比較	担当者のコメント及び次年度の取組み内容
目標値	5,291,000 kg-CO ₂	達成 101.6%	前年度 5,569,817 kg-CO ₂	二酸化炭素排出に寄与度の大きい電力使用量で削減 目標が達成できたためこちらの目標も達成出来ました。 2025年度も達成できるように取り組んでいきます。
実績値	5,207,254 kg-CO ₂		前年度比 △ 6.5 %	
実施事項				
電気使用量の削減及びガソリン使用量の削減によりCO ₂ 排出量を削減していく。				

【評価基準】◎ 110%以上 / ○ 105%以上110%未満 / 達成100%以上105%未満 / △ 95%以上100%未満 / × 95%未満

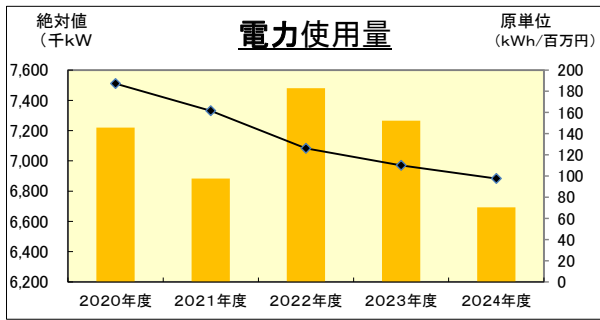
■環境目標の実績推移(取組項目別)(全社)

【削減項目】

事業環境の変化等を考慮し2023年度は2022年度実績を基準として設定しております。

※ 絶対値(縦棒グラフ): 絶対値による実使用量・排出量

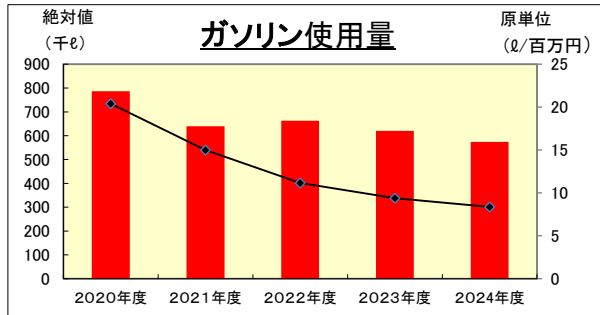
※ 原単位(折線グラフ): 売上高百万円当りの使用量・排出量



電力使用

電力使用量	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
絶対値あたり	7,219	6,883	7,481	7,266	6,692 (千kWh)
原単位あたり	187	162	126	110	98 (kWh/百万円)

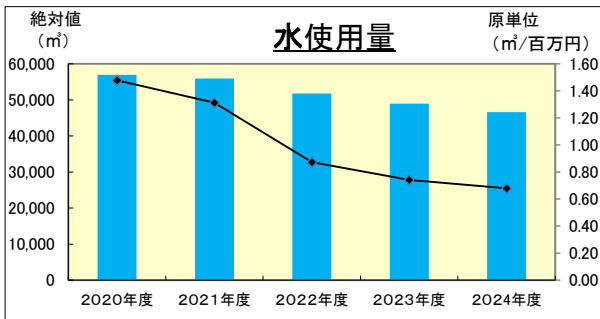
絶対値あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	6,903 (千kWh)
原単位あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	105 (kWh/百万円)



ガソリン使用

ガソリン使用量	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
絶対値あたり	786	639	663	620	574 (千ℓ)
原単位あたり	20	15	11	9	8 (ℓ/百万円)

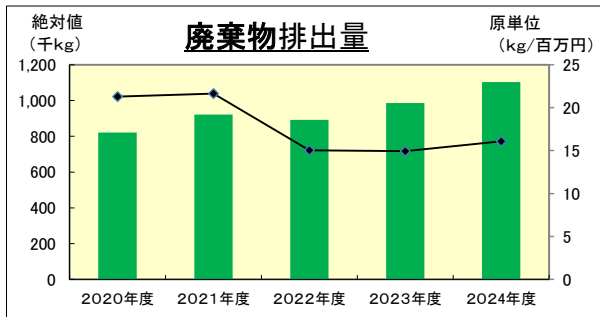
絶対値あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	589 (千ℓ)
原単位あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	9 (ℓ/百万円)



水使用量

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
絶対値あたり	56,976	55,903	51,792	48,965	46,582 (m³)
原単位あたり	1.48	1.31	0.87	0.74	0.68 (m³/百万円)

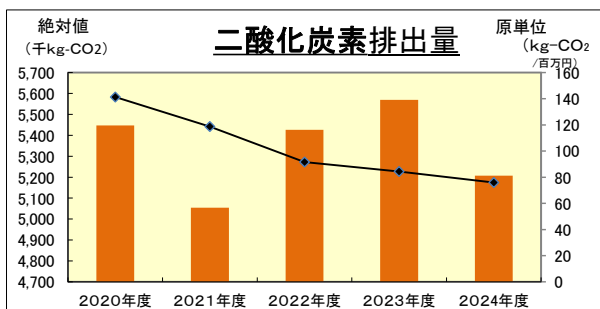
絶対値あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	46,517 (m³)
原単位あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	0.70 (m³/百万円)



廃棄物排出量

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
絶対値あたり	821	922	891	986	1,103 (千kg)
原単位あたり	21	22	15	15	16 (kg/百万円)

絶対値あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	937 (千kg)
原単位あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	14 (kg/百万円)



二酸化炭素排出量

CO2排出量	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
絶対値あたり	5,447	5,054	5,426	5,570	5,207 (千kg-CO2)
原単位あたり	141	119	91	84	76 (kg-CO2/百万円)

絶対値あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	5,291 (千kg-CO2)
原単位あたり・目標	2023年度比	△ 5.0%	80 (kg-CO2/百万円)

■環境関連法規の違反・訴訟の有無

1. 主な環境関連法規

適用法		要求事項	遵守評価
公害防止	道路運送車両法	<ul style="list-style-type: none"> ・CO・HCの排出基準順守 ・ディーゼルスモークの排出基準順守 ・指定整備記録簿の2年間保管遵守 	適合
	騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 ・騒音測定記録 	適合
	振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 ・振動測定記録 	適合
	水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出(自動式車両洗浄装置) ・汚染状態を測定し結果を記録する義務 	適合
	下水道法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の設置等の届出 	適合
	浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期水質検査の実施 ・清掃の実施 	適合
	各府県条例(生活環境の保全等に関する条例)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサー等の騒音・振動規制 ・水質汚濁防止 ・流入車規制 	適合
廃棄物リサイクル	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の適正処理・適正保管 ・処理委託業者との契約締結 ・産業廃棄物管理票の交付状況報告書 	適合
	自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄車両の適正処理 	適合
	グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した製品の利用促進 	適合
化学物質対策	化学物質リスクアセスメント(労働安全衛生法)	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物資のリスクアセスメントの実施 ・リスクアセスメントの結果に基づき労安法の措置 	適合
	消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物貯蔵所の届出 ・防火管理者の届出 	適合
環境保全	フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易点検・定期点検の実施及び記録保存 ・フロン類漏えい時の漏えい量報告 	適合

2. 環境関連法規等適用一覧

適用法 拠点	公害防止						廃棄物 リサイクル			化学物質対策		環境全
	道路運送 車両法	騒音 規制法	振動 規制法	水質汚濁 防止法	下水道法	浄化槽法	廃棄物 処理法	自動車リサ イクル法	グリーン 購入法	化学物質リス スクア セメント	消防法	フロン排 出抑制法
本社												
大阪営業本部												
新大阪店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
大阪車両センター												
箕面店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
千里店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
茨木店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
高槻店	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
枚方店	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
東成店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
守口店	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
門真店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
大阪西店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
東大阪店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
堺店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
富田林店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
藤井寺店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
松原店	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
泉北ニュータウン店	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
もず店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
岸和田店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
中四国営業本部												
岡山店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
岡山東店												
中四国車両センター	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
岡山南店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
真庭店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
津山店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
倉敷店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
小溝店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
水島店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
中庄店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
笠岡店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
総社店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
UCAR 倉敷	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
山陰営業部												
松江店	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○
出雲店												
中四国車両センター(山陰)	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
三刀屋店	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
浜田店	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
米子東店	○	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○
愛媛営業部												
松山宮西店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
松山きし店												
中四国車両センター(愛媛)	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
新居浜店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
宇和島店	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○

2. 環境関連法規等適用一覧

適用法 拠点	公害防止						廃棄物 リサイクル			化学物質対策		環境 保全
	道路運送 車両法	騒音 規制法	振動 規制法	水質汚濁 防止法	下水道法	浄化槽法	廃棄物 処理法	自動車リサ イクル法	グリーン 購入法	化学物質リス クエア セスマネン ト	消防法	フロン排 出抑制法
中部営業本部	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
本陣店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
津島店	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
一宮公園通店	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○
豊山店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
春日井バイパス店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
犬山店	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
江南店	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○
熱田店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
太平通店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
島田橋店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
徳重店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
尾張旭店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
グリーンロード店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
三好木之本店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
安城赤松店	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
西尾山下店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
星崎店	○	○	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○
東海店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
知多阿久比店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
刈谷昭和店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
岡崎矢作店	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
中部車両センター	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
岡崎城北店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
岡崎大樹寺店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
岡崎上和田店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
岡崎光ヶ丘店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
豊川インター店	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
豊橋瓜郷店	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
豊橋向山店	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○
岐阜東店	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
岐阜営業部												
岐阜南店	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
中部車両センター(岐阜)												
岐阜北店	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○	○	○
大垣店	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○
関店	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○
可児しもえど店	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多治見店	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○
高山店	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○

3. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、また、関係当局より環境関連法および条例等の違反の指摘は過去3年間ありません。
また、訴訟等も同様にありません。

■代表者による見直し記録（有効性、適切性の確認）

■ 全体評価

(1) 環境目標の達成状況

各取組において、廃棄物と二酸化炭素排出量以外の目標は達成。
2025年度についても削減の目標達成を目指し、環境負荷の低減を目指していく。

(2) 環境活動計画の実施及び運用結果

運用については概ね問題無く運用出来ている。
日次・月次と日々の活動がSDGs・カーボンニュートラル達成に大きく寄与できることから
より環境経営に沿った取組・活動の計画を推進していく。

(3) 環境関連法規等の遵守状況

遵守状況に大きな問題はない。
法改正においても、改正の都度対応できるよう情報収集を怠らず、速やかに措置していく。

(4) 外部からの環境に関する苦情や要望

近隣住民等からの苦情はなく、問題はありません。

(5) 環境負荷・取組の自己チェックの結果

電力消費量・ガソリン使用量の削減に成功。
今年度も、更なる削減に向けて全社員で協力して取り組んでいく。

■ 見直しの結果

エネルギー料金の高騰と円安による物価上昇で経済活動の回復は遅れており
我々が取り扱う商品(自動車)は、温室効果ガスを発生する物であるため、
三菱自動車のPHEV及び電気自動車などの、環境に配慮した車を社会に提供していくことで、
企業として環境目標に留まらず、地球環境に配慮する企業として貢献できる様、
継続した活動を展開したい。
自動車販売会社として、企業理念である社会に貢献する会社を目指し
パリ協定で定められた2050年、CO₂排出実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けて
EA21活動を通じ環境負荷の低減に取り組みます。

2024年度 西日本三菱自動車販売株式会社の環境活動に関する評価の結果及び
今後の見直しに向けての指示事項を上記の通り定める。

2025年4月1日
西日本三菱自動車販売株式会社
代表取締役 吉岡 重文

■当社が向き合う環境経営課題

(1) 当社が向き合う環境経営課題

- ・地球温暖化による気候変動対策
⇒「クルマ」はCO2排出の大きな原因の1つであり、EV・PHEV等の環境対応車の普及を促進する。
- ・エネルギー問題(リサイクル・省資源対策)
⇒「クルマ」を製造販売していく上で、多様な資源エネルギーを使用する為、リサイクル・省資源に努める。
- ・排気ガスによる環境汚染の抑制対策
⇒エコ整備・エコドライブの推進・普及を促進させ、CO2の排出抑制に努める。
- ・大規模自然災害対策
⇒大規模災害時の電気などの社会インフラが停止した事態にも役に立てる「電動車」の普及を促進する。
- ・サービス技術の継承
⇒お客さまに「安心・安全なカーライフ」を持続的に提供していく為に人材育成に努める。
- ・なくなる交通事故
⇒「クルマ」による交通事故を減らしていくことは、自動車販売会社にとっての重い使命である。

(2) 当社が提案する解決策

『電動車』と『SUV』

三菱自動車グループは「気候変動」「エネルギー問題」「大規模自然災害」という社会課題と市場動向を踏まえ、「電気自動車とSUVで社会に役立つ企業になる」ことを目指しています。

電気自動車は、化石燃料に頼らず多様なエネルギー源で発電した電力を動力とするため、気候変動やエネルギー問題の解決策になります。また、大容量の駆動用バッテリーに夜間の余剰電力を蓄電し、日中に給電することで電力ピークの平準化に貢献するのみならず、大規模災害時は非常用電源としても期待されています。

又、SUVは、エンジン改良などの燃費向上に加え、EVシステムと組み合わせたプラグインハイブリッド車(PHEV)の普及を通じて社会・地球環境に貢献していきます。



アウトランダー PHEVの電気で世界遺産富士山構成資産・白糸ノ滝をライトアップ!

・ MORE



アウトランダーPHEVの給電力和強靱な足回りが、星空写真撮影会で活躍

・ MORE



給電機能とS-AWCの悪路走破性がポイント JR東海災害対策車両としてアウトランダーPHEVを導入

・ MORE



予測不可能なトラブルをアウトランダーPHEVで乗り越える。熊本地震で証明された新たなクルマの“価値”

・ MORE



熊本地震で被害を受けた宇土市でアウトランダーPHEV8台を活用

・ MORE



豪雪と停電 複合的災害の危機を救ったアウトランダーPHEV

・ MORE

【電動車両の活用事例(三菱自動車HP掲載)】

(3) 環境経営課題に対する取組み項目

	気候変動対策	エネルギー問題	大規模自然災害対策	サービス技術継承	交通事故削減推進
(1) 温室効果ガスの排出抑制	○	○			
(2) エネルギーの効率的利用	○	○			
(3) 資源の効率的利用	○	○			
(4) 廃棄物排出抑制と適正処理	○	○			
(5) 化学物質の適正管理	○		○		
(6) 「電動自動車」の販売促進	○		○		
(7) エコ整備・エコドライブの推進・普及	○	○		○	○
(8) 店舗・周辺環境の維持・改善			○		○

■三菱自動車グループの環境への取り組み方針(環境ターゲット2030)



三菱自動車では、「モビリティの可能性を追求し、活力ある社会をつくります」をビジョンとし、この実現に向けたMISSIONの1つとして「社会の持続可能な発展に貢献すること」を掲げています。

2020年7月に発表した中期経営計画Small but Beautifulでは、「全てのステークホルダー・社献を重視した事業展開」「当社の得意分野・収益分野への選択と集中」を当社の命題としたうえで、経営基盤の安定化に向けた構造改革をやり切る考えです。そのうえで、環境課題は先送りできない当社の重要課題と捉えています。顕在化する気候変動問題や社会動向を踏まえ、30年先の社会を見据えた取り組みの方向性を定める必要があると認識し、新環境計画パッケージを策定しました。

クルマを生産・販売する企業の責任として、環境負荷低減活動に具体的な目標を掲げて推進するとともに、プラグインハイブリッド車を軸とした環境技術を強化し、実効性のある商品や技術の普及によって、活力ある持続可能な社会の発展に貢献していきます。

■三菱自動車グループの社会貢献活動



STEP to the future

※三菱自動車グループの社会貢献活動ロゴ

よりよい未来を描くことができる社会をめざして

私たちは「STEP『地域社会(Society)』『交通安全(Traffic safety)』『環境(Environment)』『人(People)』」の分野で、多様化する社会の課題に応えるため、従業員ひとりひとりの持つ技術やノウハウ・製品を活用した継続的な社会貢献に取り組むことで、よりよい未来を描くことができる社会をめざします。



『地域社会(Society)』
地域のニーズに即した活動を通じ、地域社会の発展に貢献します。



『交通安全(Traffic safety)』
交通社会の安心・安全の実現に貢献します。



『環境(Environment)』
大切な地球環境の保全に貢献します。



『人(People)』
人々に寄り添い、笑顔あふれる生活の実現に貢献します。



**MITSUBISHI
MOTORS**

Drive your Ambition

西日本三菱自動車販売株式会社